

## 2023年度企業調査報告書

例年、卒業生が在学時に進路決定届を提出した企業・法人へ在籍調査を行っていたが、今年度より過去採用実績のある企業・法人をピックアップしインタビュー及びアンケート調査を行った。

【目的】企業・法人の人事担当者から見た本学のキャリア教育の課題の抽出と、企業・法人が新卒採用に対し何に重きを置いているのかを判断し、今後の適切な学生指導へ活かすために行う。

【方法】企業・法人の人事担当者向けにインタビュー及びアンケート調査

【期間】2023年8月10日～8月31日

【対象】本学卒業生が在籍している学校法人、流通業、サービス業（一般）、小売業、金融業

### 【対象企業・法人】

A	B	C	D	E
種別：学校法人 業種：サービス（学校） 事業内容：幼稚園 資本金：公表無 従業員数：47名	種別：一般企業 業種：流通・その他（メガネ・薬局・書籍・スポーツ等） 事業内容：楽器販売、音楽教室運営 資本金：1億円 従業員数：2,315名	種別：公務員 業種：公務（国家） 事業内容：陸上自衛隊 資本金：公表無 従業員数：24,000名	種別：一般企業 業種：金融（生命保険） 事業内容：生命保険業 資本金：428,915億円 従業員数：48,179名	種別：一般企業 業種：サービス：ホテル・旅館 事業内容：リゾートホテル、温泉旅館展開 資本金：1億円 従業員数：2,045名

### 1. インターンシップについて

	A	B	C	D	E
実施の有無	有	実施有（2023年度は関東・近畿地区のみ実施）	有	実施あり キャリア教育（1日）、インターンシップ（5日間）	有
選考方法	必要があれば実施	インターン面接（実技演奏動画提出有）	採用試験	インターンシップ参加のための選考はありません	マイナビより予約。オンライン開催。
採用選考との関連	直結はしないが、印象には残るため、心理的な影響はある。	2023年度については関連なし。今後については検討中。	学科試験・面接・身体検査	一次面談免除、採用選考を優先的に案内、インターンシップ参加者限定就活フォローセミナーあり	インターンシップに参加者は早期選考説明会に参加可能。

●2023年4月よりインターンシップでの情報を採用選考に利用することを認められた。が、5日間以上のものに限られるため、D社、F社のような比較的規模の大きな企業はインターンシップ⇒早期選考という流れが出来上がっている。他3社はインターンシップが行われているが実際は1日～3日程度で終了するもので採用選考と関連付けるものではないとのことだった。

## 2. 本選考について

	A	B	C	D	E
2024年度の採用計画及び採用予定職種	1名、音楽講師兼事務スタッフ	講師、インストラクター (※スタッフ職別途実施)	陸・海・空各種	法人総合営業職 (地域型)	ホテルマネジメント職・調理職にて募集予定。
採用選考開始時期	随時	東海地区 2024年新卒採用選考会は2023年9月より開始予定	通年	3月	1月～3月
内々定連絡開始時期	選考後1週間以内	上記採用試験実施後、合格者へ随時ご連絡(関東地区開催の選考会のみ6月～)	受験種目による	6月	2月～4月ごろ
採用試験全般で重視する点	人柄	音楽力・コミュニケーション力。生徒様から憧れられる演奏力、指導者としての基礎的な演奏力。コミュニケーション力は、生徒様に寄り添えるヒアリング力や初心者の方にわかりやすく伝えることができる言葉の表現力など、生徒様のことを知りたい・音楽の楽しさを伝えたいという気持ちが伝わってくることを重視。	総合的判断	人柄	人柄重視
成績・資格・語学など	あればよいが、特段影響はない	選考は当社の採用試験にて実施。コンサート・コンクール出演出場歴は参照しプラスの要素として参考。外国籍の方は日本語の読み書き会話が問題ないことを前提。	受験種目による		普通自動車運転免許(AT限定可)
エントリーシート の提出方法	紙媒体	紙媒体、その他(選考会申込はWEBのみ)応募用紙(履歴書)は紙媒体で説明会参加時に持参。	紙媒体、電子データ(PDF等含む)	電子データ(PDF等含む)	電子データ(PDF等含む)
試験内容	面接、実技、適性検査	筆記試験・演奏実技試験・面接	学科試験・面接・身体検査	適性検査、面談・面接	面接複数回、WEB適正検査を予定
グループワーク試験の有無	有り	無し	無し	無し	無し
面接回数	1回	講師1回、インストラクター最低2回	1回	3～4回程度	2～4回

●本選考に関して企業側が最も気を遣うのは「転勤」ということであった。近年では総合職といえども「地域限定職」という形で転居を伴わない採用形態を多くするなどの配慮が見られるケースがあり、地元志向が顕著に表れているとのこと。

●採用選考の開始時期としては最も早いのがE社の3年次1月。そのほかは3月以降順次や随時というところが多かった。ただ、B・C・D社に関して、例年同じ時期にて選考開始しているが希望者がいればその都度説明会や選考を開催するとのことであった。

●採用試験全般で重視する点については、全てで「人柄」「コミュニケーション」の力がある学生を求めていることが伺える。もちろん企業内においても人間関係の構築することが不可欠であるため、そういった能力のある人材が望まれている。

●採用試験においては講師系での採用は実技が必須、面接に関しては全ての企業・法人で実施されており、一般企業に関しては最高で4回との回答であった。

### 3. 昨今の学生の印象と本学学生に求めること

	A	B	C	D	E
本学学生も含めた昨今の応募学生の印象	とてもマジメで、忍耐力がある印象	他大学含め、志望動機など基本的なことはしっかり準備して臨んでいる印象。一方で「楽しいレッスンをしたい」と考える学生の方が多いが、「どのようにしたら楽しいレッスンになるか」の具体的な部分まで掘り下げてイメージできている方はまだ少ない印象。	好印象	落ち着きがあり、まじめな印象の学生が多いです	おとなしい学生様が多い印象
本学学生へ求めること、得ておいてほしいスキル等	副科を選考すること、演奏会やコンクール・厳しい環境に自らトライすること	実際のレッスンの中でも、演奏指導の一環として、楽典やソルフェージュに関わる指導が必要。そのため、筆記試験では聴音と楽典とを実施。また、指導者としての演奏力も重視。自身の演奏の強みを十分に活かせる演奏曲の演奏。生徒様とのコミュニケーションを通して信頼関係を築ける方を求めている。コミュニケーションスキルを磨いていきたい、と考えている方を求めている。	特に無し	コミュニケーション能力、組織対応力、行動力、課題解決力、ホスピタリティなど	積極性やコミュニケーション能力を高めて頂きたいと考えます。

●全体的には「真面目」、「大人しい」というようなキーワードが挙げられている。今回挙げた企業・法人もそうだが来校いただいた企業・法人の方も、同じような意見を言われることが多くある。コロナ禍でのコミュニケーションの断絶やスマートフォン等のツールの発達による「対面スキル」の弱さが企業としては採用後の業務に支障が出る場面（トラブル）があるのではないかと、またそれがきっかけに退職してしまう恐れがあることを危惧していた。

●本学学生に求めることは大まかにいって「コミュニケーション能力」であると考えられる。どんな業種・職種においてもお互いの信頼関係は必須であり、その信頼関係を構築するためにはコミュニケーション能力が必要である。このコミュニケーション能力を向上させるためには「人と話すこと」だけでなく、その人に合わせた「知識」「教養」を持つことが重要であり、そこを根底としたコミュニケーション能力が課題解決力や社会人基礎力の醸成に繋がっていくと考えられる。音楽という専門的な学びのほかにキャリア支援センターのセミナー等を通じて様々な教養（知識）を身に付け、それを使いこなす方策をキャリア支援センターとして伝えていきたい。